

【施策評価調査】

施策名	5-3-4	地域コミュニティ(小学校区単位)による地域教育力の活用		120	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ	120	生涯学習は、町民一人ひとりが自発的な意思により、自己の充実、啓蒙や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を利用し、自分に適した手段、方法を選択し、一生涯をとおして行うものです。その実現に向け、学習意欲が持続されるよう、様々な自然体験、社会体験、交流活動の機会を、より身近な場所で事業を展開することにより、参加しやすい状況を作るとともに、自ら生涯学習を支える地域協働団体に参加し、他者とのふれあいを豊かにすることで、人間としての充足感を味わえるよう施策を展開します。
		担当部課	教育部 生涯学習課				
環境変化	近年、社会環境が大きく変化し、生活様式、価値観が多様化し、他者との結びつきが弱くなっていると言われている。					施策内容	既存の公共施設を有効活用し、地域交流センター(市民活動支援センター・生涯学習センター・地域公民館)を小学校区単位に(5年後に2箇所・10年後に6箇所)新設します。この施設を地区の拠点として利用して、地域教育力の活用を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：地域交流センター活動年間事業数(種類)	平成16年度	計画		2種類	2種類	5種類	5種類
	0種類	実績		0	0		
指標：地域交流センター設置数(累計)	平成16年度	計画		1箇所	1箇所	2箇所	2箇所
	未設置	実績		未設置	未設置		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	7,045,000	3,871,000	3,747,000	2,490,000	
	決算	5,550,453	3,183,976	3,479,517		

専務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
(再掲)地域協働団体等支援事業費	H21 現計 0 H22 計画 0	ボランティアメッセージ参加人数 100人	関係機関との連携を図りながら、団体の主体的な活動に対し側面的に支援することで、地域教育力が最大限に引き出せることとなります。また、学校支援ボランティアの活動を活性化させることで、地元の学校への関心を高め、児童生徒との交流を深めることができます。	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
(再掲)花いっぱい運動推進費	H21 現計 2,490,000 H22 計画 2,490,000	参加者数 1,000人	公民館毎にそれぞれ工夫した花壇づくりをしている所や、育成会だけで行っているところもあり様々ですが、花づくりを地域の住民と子供たちが共同で行うことで、コミュニケーションが図られ、地域の親睦と交流が生まれます。	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H21 現計 H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計 H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計 H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
自己評価	今後の方向性 現状水準維持 花いっぱい運動推進事業は、地域コミュニティ活性化の一環として、自治公民館や事業所において定着してきています。地域協働の精神や地域を大切にしようとする心も育まれることから、今後も継続的に取り組んでいきます。 なお当事務事業は「5-3-1地域協働団体等の育成と支援」施策に統合し、総合的に取り組んでいきます。	公民館は、地域活性化の根底にあることから公民館活動に対し支援していきます。
総合評価	住民協働推進計画に先行して施策展開することとしていたが、計画の進捗状況を見極めた上で、他の施策と統合するなど、施策のあり方は検討すること。	